

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	東京五輪を契機とした文化振興推進事業	
所管課	経済観光文化局文化振興部文化振興課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 2020年東京五輪に向けて、全国で様々な主体による日本文化の魅力を発信する事業を「文化プログラム」として推進していくこととしている。福岡市においても、国の動きを踏まえながら、東京五輪とその翌年の世界水泳にむけて、福岡独自の歴史・文化の魅力を福岡市文化プログラムとして、一体的に広く展開、発信していくことで、文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と世界に向けた福岡市のプレゼンスの向上を目指す。
開始年度	平成29年度	背景
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	1-4-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり		
事業群	文化芸術の振興		
		施策成果指標	文化芸術を鑑賞する市民の割合 (H34年度目標値: 75%)
			入込観光客数 (H34年度 2,000万人)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民、国内・国外からの観光客
	対象をどのような状態にしたいのか ・文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現。 ・文化芸術を通して福岡の魅力を世界に発信することで、福岡市のプレゼンスの向上及び、市内への誘客を促進。
事業目的	

実施内容 (手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と世界に向けた福岡市のプレゼンス向上を目指す「福岡市文化プログラム」を始動し、取組みの方向性を提示。 ・福岡市文化プログラム第1弾事業として、福岡城跡を会場に、現代アートを展示し、歴史性と新規性が融合した、大人も子ども楽しめる新たな魅力を創出する「福岡城まるごとミュージアム」を実施。
	・国が推進する文化プログラム認証制度「beyond2020プログラム」を活用し、市内の文化事業を促進し、一体的に発信していくため、H30年度から福岡市が認証組織となるべく、申請手続きを行った。
	・beyondに登録された市内の文化活動を福岡市文化プログラムとして、一体的に発信するための情報サイトを構築した。

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
歳出合計	10,295		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	10,295	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
歳入	歳出合計	0	15,899
	特定財源	0	0
	歳入	0	15,899

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー (ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・福岡市文化プログラムの取組の方向性を提示し、福岡の歴史文化の魅力発信する事業を実施 ・福岡市がbeyond2020プログラムの認証組織となる。 ・福岡市文化プログラムについて一体的に情報発信	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民、民間団体、行政など多様な主体が行う市内の様々な文化事業をbeyond2020として認証することで、市内全体で多様な文化事業が一体的に展開されるとともに、国や市の情報サイトを通して、国内外に発信される。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市内の文化事業に、市民が触れる機会が増加し、「文化芸術を鑑賞する市民の割合」が高まる。 ・福岡独自の文化芸術事業が都市の魅力・ブランドとして定着し始め、文化芸術事業を目的とした「入込観光客数」が増加する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・福岡市の文化芸術の振興がはかられ、豊かで潤いのある市民生活が実現される。 ・観光集客における福岡市の優位性が高められ、更なる集客に寄与する。		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	-	-	500件	H32年度
		実績	-	-		1,000件
達成率	-	-				
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
成果の指標(KPI)	文化芸術を鑑賞する市民の割合	目標	65.0%	66.7%	69.1%	H33年度
	実績	66.3%	未公表	73.5%		
	達成率	102.0%				
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
成果の指標(KPI)	入込観光客数	目標	18,200,000.0	-	-	H33年度
	実績	20,500,000.0	未公表			
	達成率	112.6%	-			

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	美術館リニューアル事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局美術館運営部リニューアル事業課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成19年度	
<b>根拠法令</b>		
<b>行政計画</b>		
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
老朽化している施設・設備を改修し、ユニバーサルデザインへ対応するとともに、時代や市民ニーズに応える文化芸術振興拠点及び集客交流拠点として魅力向上を図る。		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	1-4-2		<b>施策成果指標</b>
	再	5-1-2		
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
<b>施策</b>	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり			
<b>事業群</b>	文化芸術の環境整備			文化芸術を鑑賞する市民の割合 (H34年度目標値: 75%)
				文化芸術活動を行う市民の割合 (H34年度目標値: 25%)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	福岡市美術館を訪れる人(市民, 国内・海外観光客)
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	集客交流拠点としての魅力が向上し、多くの人が福岡市美術館を訪れる状態

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年6月から施設改修工事に着工した。</li> <li>・工事中の仮囲いに壁画を掲出する市民参加型イベントを実施した。</li> <li>・ホームページやSNSを通じた情報発信, 収蔵品情報システムの開発など, リニューアルに向けた開館準備業務を実施した。</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		168,602
歳入	特定財源	112
	一般財源	168,490
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H28	H30
歳出合計	160,837	574,504
歳入	特定財源	100
	一般財源	160,737
	574,015	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)
	老朽化している施設・設備を改善するとともに、展示室等の拡張、大濠公園側アプローチやカフェの新設、ユニバーサルデザインへの対応などを行う。 民間活力やノウハウを活用するため、改修及びリニューアル後の維持管理・運営をPFI方式により実施する。	平成31年3月に供用開始 展示室等の機能や美術品の保存環境の向上、教育普及活動の充実が図られるとともに、アプローチやカフェの新設、展覧会等における効果的な広報が行われることにより施設としての魅力が向上する。	展覧会の観覧者をはじめ、憩いの場としての利用など、多様な目的での来館者が増加する。	文化芸術に親しむ市民が増え、市民の文化環境への満足度が向上する。
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>実績</b>	<b>実績</b>
	年度	H28年度	H29年度	H30年度
	目標			
実績				
達成率				
目標				
実績				
達成率				

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	施設利用者数 ※H28年度は8月末まで (H28.9~H31.3休館)	年度	H28年度	H30年度
		目標		
		実績	193,722	-
		達成率		
目標				
実績				
達成率				

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	日本で唯一の歴史資源活性化事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 日本で唯一二重の史跡指定を受けている鴻臚館跡・福岡城跡や国宝金印発見の地である志賀島、元寇防塁等の貴重な歴史・文化資源があり、観光・集客施策を進めるにあたり活用可能性が高いため。
<b>開始年度</b>	平成24年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ			
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	福岡市内外
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	「日本に一つしかない」重要な歴史・文化資源(鴻臚館跡、福岡城跡、元寇防塁、志賀島など)を観光資源として更に磨き上げ、魅力向上に取り組んでいく。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	【鴻臚館跡・福岡城跡】 ・福岡城むかし探訪館「三の丸スクエア」の管理運営及び「鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩」の運用によるエリア回遊性促進。 ・乗馬体験の実証、写真スポットの磨き上げを実施。 ・鴻臚館・福岡城のユニークメニューとしての活用の検討及び民間企業が実施する体験イベントの誘致。 ※志賀島、元寇防塁等の市街化調整区域における取組みについては、「歴史文化を活かした観光振興事業」に掲載

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	28,428
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	777
	<b>一般財源</b>	27,651
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	36,889      28,895
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	1,004      887
	<b>一般財源</b>	35,885      28,008

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	デジタル回遊システムの運用、体験イベントの誘致	デジタル回遊システムツアーへの予約者数が増加	福岡城むかし探訪館及び福岡城・鴻臚館案内処三の丸スクエア来館者数の増加	入込観光客数の増加		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	<b>年度</b>	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		<b>目標</b>	3,000	3,000	3,000	H年度
<b>実績</b>		1,409	1,293			
<b>達成率</b>		47.0%	43.1%			
<b>達成率</b>				H年度		

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	福岡城むかし探訪館来館者数	<b>年度</b>	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		<b>目標</b>	51,000	52,000	53,000	H年度
		<b>実績</b>	30,913	30,557		
		<b>達成率</b>	60.6%	58.8%		
三の丸スクエア来館者数	<b>目標</b>	55,000	60,000	65,000	H年度	
	<b>実績</b>	58,819	81,554			
	<b>達成率</b>	106.9%	135.9%			

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	歴史文化を活かした観光振興事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
インバウンド観光客の消費傾向がコト消費に移行していることもふまえ、博多部エリアや鴻臚館・福岡城、志賀島、元寇防塁等、市内各地域にある歴史・伝統・文化・自然の魅力を体験できるような観光振興を進めていく必要があるため。		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ			
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用			入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人)  外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	福岡市民、インバウンドを含む観光客
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	歴史資源や文化財、文化施設、商店街など、地域における観光資源の磨き上げや周遊コースの形成を図り、観光エリアとしての魅力向上と集客促進、地域経済の活性化を図る。(市街化調整区域における観光ビジネス活性化事業との調整)

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	【志賀島】 ・志賀島エリアの回遊性向上及びサイクリストへ注意喚起のための誘導サイン整備(9基) 【元寇防塁】 ・松濤園跡地を今津元寇防塁駐車場として確保し、駐車場までの誘導サイン等整備(8基) ・今津地区元寇防塁ガイドリーフレット作成
	※博多部エリアの取組み・事業費等については「博多旧市街プロジェクト」にて掲載

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
	<b>歳出合計</b>	3,091
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	2,314
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	0

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																												
	○志賀島エリア回遊向上及びサイクリスト注意喚起のための誘導サイン整備 ○今津元寇防塁駐車場誘導サイン等整備 ○今津地区元寇防塁ガイドリーフレット作成	○志賀島エリアにおいて、エリア内の回遊性の向上及びサイクリストの安全確保に繋がる。 ○今津元寇防塁において、駐車場利用者の利便性向上に繋がる。 ○元寇防塁案内ガイドリーフレットの作成により、観光客によるガイド利用の需要が増えるとともに、ボランティアガイドのモチベーションの向上にも繋がる。	○エリアを訪れる観光客が増加し満足度が向上する。	○福岡市中心部だけでなく、全域的に観光客が増加することで地域経済が活性化する。 ○入込観光客数の増加																																																																												
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">誘導サイン整備 (志賀島、今津元寇防塁含む。)</td> <td>目標</td> <td></td> <td style="text-align: center;">17</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">今津地区元寇防塁ガイドリーフレット作成</td> <td>目標</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	誘導サイン整備 (志賀島、今津元寇防塁含む。)	目標		17	/	H29年度	実績		17	17	達成率		100.0%		今津地区元寇防塁ガイドリーフレット作成	目標		1	/	H29年度	実績		1	1	達成率		100.0%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度		目標			/	H 年度	実績				達成率					目標			/	H 年度	実績				達成率					
指標の内容	年度			実績		目標																																																																										
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																											
誘導サイン整備 (志賀島、今津元寇防塁含む。)	目標		17	/	H29年度																																																																											
	実績		17		17																																																																											
	達成率		100.0%																																																																													
今津地区元寇防塁ガイドリーフレット作成	目標		1	/	H29年度																																																																											
	実績		1		1																																																																											
	達成率		100.0%																																																																													
指標の内容	年度	実績		目標																																																																												
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																											
	目標			/	H 年度																																																																											
	実績																																																																															
	達成率																																																																															
	目標			/	H 年度																																																																											
	実績																																																																															
	達成率																																																																															

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	博多旧市街プロジェクト	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 天神ビッグバン、ウォーターフロントNext、歴史が息づく博多部の対比を考えながら街づくりを推進してきた一方で、博多部の本物の資源や魅力が十分に認知されておらず、改めて、自分たちが住んでいる地域に興味を持ち、誇りに思う気持ちを育てながら、「博多部」にある本物の魅力を磨き、市民や観光客にしっかりと伝える必要があるため。
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ			
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	福岡市内外
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	天神ビッグバンと対をなすプロジェクトとして、中世最大の貿易港であった博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高める。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	博多旧市街プロジェクトにパッケージ化する施策として、作成したロゴのPR、観光案内板等の改修、インバウンド向け体験プログラムの造成、山笠バーチャルリアリティー(VR映像)の制作などを行った。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	23,522
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	0
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	13,455
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	0

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>																																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ストーリーの造成</li> <li>○博多旧市街ロゴの商標登録</li> <li>○博多旧市街よかなび特設ページ開設</li> <li>○ロゴ入り暖簾等制作</li> <li>○既存イベントにおける「旧市街」の雰囲気を感じさせる装飾等</li> <li>○観光案内板等の改修及び新設</li> <li>○博多部エリア全体の観光振興の検討</li> <li>○出来町公園民設民営施設を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博多旧市街の魅力、来訪者の理解を深め満足度を高めるストーリーでPRすることができる。</li> <li>○装飾等により博多旧市街の可視化に繋がる。</li> <li>○博多＝観光地としてのイメージの定着に繋がる。</li> <li>○旧冷泉小学校跡地へ導入すべき観光拠点機能や事業スキームを整理し、跡地活用全体会議と連携して検討することができる。</li> <li>○出来町公園内での観光拠点の整備、また、周辺情報を掲示した地区案内板や、観光説明板、誘導板などの新設・改修整備により回遊性が高まる。</li> </ul>	「博多町家」ふるさと館及びはかた伝統工芸館の来館者数の増加	入込観光客数の増加																																																																							
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">インバウンド向け体験商品数(H30以降は民間による自走化)</td> <td>目標</td> <td></td> <td style="text-align: center;">8</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td style="text-align: center;">21</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">262.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">観光案内板(地区案内板、誘導版を含む)の改修及び新設数</td> <td>目標</td> <td></td> <td style="text-align: center;">29</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">7</td> <td>H30年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td style="text-align: center;">29</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	インバウンド向け体験商品数(H30以降は民間による自走化)	目標		8	/	H29年度	実績		21	8	達成率		262.5%	観光案内板(地区案内板、誘導版を含む)の改修及び新設数	目標		29	7	H30年度	実績		29	7	達成率		100.0%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「博多町家」ふるさと館来館者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">180,000</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">122,087</td> <td style="text-align: center;">104,141</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">180,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">76.3%</td> <td style="text-align: center;">65.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">博多伝統工芸館来館者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">120,000</td> <td style="text-align: center;">123,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">130,000</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">120,360</td> <td style="text-align: center;">123,960</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">130,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100.3%</td> <td style="text-align: center;">100.8%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	160,000	160,000	180,000	H年度	実績	122,087	104,141	180,000	達成率	76.3%	65.1%	博多伝統工芸館来館者数	目標	120,000	123,000	130,000	H年度	実績	120,360	123,960	130,000	達成率	100.3%	100.8%	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																					
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																						
インバウンド向け体験商品数(H30以降は民間による自走化)	目標		8	/	H29年度																																																																						
	実績		21		8																																																																						
	達成率		262.5%																																																																								
観光案内板(地区案内板、誘導版を含む)の改修及び新設数	目標		29	7	H30年度																																																																						
	実績		29		7																																																																						
	達成率		100.0%																																																																								
指標の内容	年度	実績		目標																																																																							
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																						
「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	160,000	160,000	180,000	H年度																																																																						
	実績	122,087	104,141		180,000																																																																						
	達成率	76.3%	65.1%																																																																								
博多伝統工芸館来館者数	目標	120,000	123,000	130,000	H年度																																																																						
	実績	120,360	123,960		130,000																																																																						
	達成率	100.3%	100.8%																																																																								

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	福岡城跡復元整備事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局文化財活用部 史跡整備活用課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成26年度		本市を特徴づける歴史的な文化資源を磨き上げ本市の観光・集客の核とするため
<b>根拠法令</b>	文化財保護法		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画					
<b>施策コード</b>	主	5-1-1			<b>施策成果指標</b>
	再	5-1-2	8-1-2		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ				
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用				過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園)に行ったことがある市民の割合 (H34年度目標値:60%)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	国史跡福岡城跡
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	福岡城跡を魅力ある歴史資源として磨き上げ、観光・集客の拠点とするとともに、歴史的価値を後世に確実に継承する。 また、使える身近な史跡として積極的な公開・活用を図る
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	重要文化財福岡城南丸多間櫓の修理工事を行い、施工に合わせ夏休みの修理体験や修理現場の公開などを行った。竣工後はさくらまつりに合わせ、「福岡城まるごとミュージアム」として、福岡市美術館・福岡アジア美術館による現代アートの展示・公開を行った。 また、福岡城整備事業にかかる基礎資料とするために、南丸の発掘調査と石垣調査を行い、成果を一般公開した。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	71,457
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	58,365
	<b>一般財源</b>	13,092
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	4,787      37,675
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	2,101      18,379
	<b>一般財源</b>	2,686      19,296

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	平成26年度策定の国史跡福岡城跡整備基本計画にそった整備・活用事業を推進する。 市民・観光客がわかりやすく楽しめる環境を整え、広く福岡城の魅力を伝えていく。	広く周知されるとともに、整備事業に対する理解・共感を得る。 また、多くの市民・観光客が訪れ、活発な公開活用が行われる。	公開活用事業の推進とともに来訪者が増加し、史跡としての福岡城跡の認知度も向上する。 また、福岡城整備基金の寄付額が増加する。	福岡城が都心部における観光・集客の拠点となる。 また、市民の誇りとしてアイデンティティー形成の核となり、郷土の歴史を知る場となる。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	<b>年度</b>	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		<b>目標</b>	106,000	112,000	118,000	H年度
<b>実績</b>		89,732	90,474	25,000		
<b>達成率</b>		84.7%	80.8%	25,000		
<b>目標</b>				H年度		
	<b>実績</b>					
	<b>達成率</b>					

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	福岡城整備基金の寄付額	<b>年度</b>	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		<b>目標</b>	25,000	25,000	25,000	H40年度
		<b>実績</b>	13,926	10,519		25,000
		<b>達成率</b>	55.7%	42.1%		
	<b>目標</b>				H年度	
	<b>実績</b>					
	<b>達成率</b>					

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	鴻臚館跡整備基本計画		
<b>所管課</b>	経済観光文化局文化財活用部 史跡整備活用課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成24年度		本市の観光・集客戦略の一環として、歴史的文化遗产を磨き上げる必要性が高まったこと。
<b>根拠法令</b>	文化財保護法		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画					
<b>施策コード</b>	主	5-1-1			<b>施策成果指標</b>
	再	5-2-1	8-1-2		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ				
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用				

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	国史跡鴻臚館跡
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	鴻臚館跡を適切に保存・整備し、その歴史的価値を確実に次世代に継承すると共に、多くの市民や観光客を引きつける場所にする。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	(株)エスティ環境設計研究所に委託を行い、国史跡鴻臚館跡の保存・整備の具体的内容やスケジュールを示す基本計画の検討を行った。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	4,521
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	4,521
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	3,761      0
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	3,761      0

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴻臚館跡の整備計画等の作成。</li> <li>・全容解明のための調査の実施。</li> <li>・周知化のための講演会、イベントなどの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴻臚館跡の保存・整備が実施される。</li> <li>・鴻臚館跡の歴史的価値が向上する。</li> <li>・福岡の歴史資源として磨き上げて、観光・集客につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡鴻臚館跡の認知度の向上。</li> <li>・来訪者の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史を知る場となる。</li> <li>・歴史観光の場となる。</li> <li>・市民の誇り、アイデンティティーの形成。</li> </ul>	
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	整備計画の策定	年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標		90	90	100	H年度
実績		90	90		
達成率		100.0%	100.0%		
目標				H年度	
実績					
達成率					

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	鴻臚館跡展示館の入館者(年間)	年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標		30,000	32,000	34,000	H年度
実績		25,917	25,655		
達成率		86.4%	80.2%		
目標				H年度	
実績					
達成率					

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	まち歩き観光振興事業(観光案内ボランティアの充実強化)	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市民や来訪者に対し、本市を正しく理解、認識してもらうため、福岡市が募集・研修養成を実施。平成7年のユニバーシアード福岡大会開催に向けての市民ホスピタリティの向上を見据えて設立した。
<b>開始年度</b>	平成3年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-3-1		<b>施策成果指標</b> 観光案内ボランティアの案内人数目標 (H34年度目標値:15,000人)
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり			
<b>事業群</b>	おもてなしの向上			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 福岡市民・福岡市を訪れる観光客
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 福岡市を訪れる多くの訪問客に、ガイドの巧みな話術とおもてなしで、快適にまちをめぐり、魅力に触れて満足していただくことで、福岡市のファンを増やす。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客等の派遣依頼にともなう観光案内活動</li> <li>・市役所ロビーに1名、町家ふるさと館に1名が毎日(12/28~1/3を除く)常駐し、無料の定時ツアーや周辺の観光案内を実施。</li> <li>・企画募集型のまち歩きツアーを定期的に実施。新コースを3コース開発。</li> <li>・鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩の実施。</li> <li>・博多情緒めぐり期間中のまち歩きの実施。</li> <li>・本市で開催される大会、祭り、イベント等の参加者に対する案内。</li> <li>・大学や専門学校等と連携し、留学生モニタリングツアーや研修、外国人向け観光案内などを実施。</li> </ul>
-----------------	---

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
	<b>歳出合計</b>	5,993	
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0	
	<b>一般財源</b>	5,993	
前年度決算額・翌年度予算額			
	<b>年度</b>	H28	H30
	<b>歳出合計</b>	6,656	5,094
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0	0
	<b>一般財源</b>	6,656	5,094

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	派遣依頼に伴う観光案内活動 まち歩きイベントの開催 広報展開(ポスター・県外へのチラシ配布・ホームページ) 新コースの開発	観光案内ボランティアの案内人数(利用人数)ならびに案内件数が増える	福岡を訪れる観光客の満足度が上がる	福岡を訪れる観光客が増える		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
<b>成果の指標(KPI)</b>	観光案内ボランティアの案内人数	目標	11,000	11,700	12,300	H年度
		実績	9,425	9,773		15,000
		達成率	85.7%	83.5%		
		目標				H年度
	実績					
	達成率					

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	MICE誘致推進事業(消, 投, 重点)MICEワンストップ体制の運営(重点)	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部MICE推進課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成13年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるとともに経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に進行を図ることとして開始。	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-4-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成			
<b>事業群</b>	MICE誘致の推進			国際コンベンション開催件数 (H34年度目標値: 250件)  国内コンベンション誘致件数 (H34年度目標値: 160件)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	MICEの主催者・参加者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	MICE主催者が、福岡市の魅力を知り、福岡を開催地として選択する状態。 また、福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力に触れ、個人旅行で再来福したり、広く福岡の魅力を発信する状態。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の国際会議等での展示会・見本市への出展。</li> <li>・国際会議協会(ICCA)のデータベースを活用した戦略的なマーケティング活動。</li> <li>・市と(公財)福岡観光コンベンションビューロー、(一財)福岡コンベンションセンターの三者で共働の誘致活動を実施。</li> <li>・実務者レベルの会議体を設け、誘致ターゲットのリスト化や月次レベルの誘致状況等について情報共有を実施。</li> <li>・MICE主催者への各種支援(コンベンション開催助成, 歓迎バナーの掲出, コンベンションサポートなど)。</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		81,604
歳入	特定財源	24,260
	一般財源	57,344
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H28      H30
	歳出合計	94,152      60,826
歳入	特定財源	13,938      17,393
	一般財源	80,214      43,433

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE誘致のためのリサーチ, マーケティング</li> <li>・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE誘致対象の発掘</li> <li>・MICE開催地としての福岡の魅力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE開催地として福岡市を選択する主催者の増加</li> <li>・福岡で開催されたMICEの主催者・参加者が福岡の魅力を感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市のMICE都市としての認知度向上</li> <li>・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇</li> <li>・MICE主催者・参加者への再来福による経済波及効果上昇</li> </ul>	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度
	目標				H 年度
	実績				
	達成率				
	目標				H 年度
	実績				
	達成率				

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	年度	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	国際コンベンション開催件数	目標	280	290	300	H31年
	(1月~12月での数値)	実績	383			310
達成率		136.8%				
国内コンベンション誘致件数	目標	148	150	152	H31年度	
	実績	130			154	
	達成率	87.8%				

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	MICE・観光による地域経済活性化事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>		
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 観光産業の振興を図るために、IoT等を活用した受入環境の向上や観光・MICE都市としての宿泊供給力の強化に取り組み、外国人観光客やMICE参加者等の満足度向上並びに消費機会、消費単価の拡大を促進するため平成29年度に事業開始。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-4-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成			
<b>事業群</b>	MICE誘致の推進			
国際コンベンション開催件数 (平成34年度目標値:250件) 国内コンベンション誘致件数 (平成34年度目標値:160件)				

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	外国人観光客やMICE参加者
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	商店街・地域事業者が実施するおもてなしへの支援や、国や民間企業と連携し、IoT等を活用した観光サービスの生産性向上などに取り組むことで、観光産業の振興を図るとともに、インバウンド対応や宿泊施設等の供給力強化など受入環境の充実を図る。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	・大名地区等において、外国人旅行者の利便性・回遊性向上に向けた店舗での実証を実施。 外国人受入実証対応店舗 H28n:11ヶ所 → H29n:80ヶ所
		・IoTを活用し、外国人観光客の消費に係る嗜好の調査・分析を実施

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		3,554
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,554
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H28	H30
歳出合計	0	743
歳入	特定財源	0
	一般財源	0

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)
	指紋認証等による「手ぶら観光」実現について、民間事業者・地場企業と連携し、実証実験を行う。	実証実験の実施により、訪日外国人観光客の回遊性・利便性が向上する。	訪日外国人旅行者の回遊性・利便性が向上することにより、福岡市域における滞在日数ならびに消費額が増加する。	外国人入国者数の増
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>
	外国人受入実証対応店舗数	H28年度 H29年度	H30年度 最終年度	H28年度 H29年度 H30年度 最終年度
活動の指標	年度 目標 実績 達成率	11 80	90	H年度 H34年度 250 H年度

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
	外国人入国者数	年度 目標 実績 達成率	H28年度 H29年度 H30年度 最終年度
		257 298	300
		250	H年度
H年度		H年度	

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	観光プロモーション事業(消費・重点)	
<b>所管課</b>	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部プロモーション推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成26年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
第三次産業への従事者が大多数を占める本市において、観光産業は消費による波及効果の裾野が広く、都市の成長にとって観光客の誘致は非常に効果的であるため。		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	5-6-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
<b>施策</b>	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
<b>事業群</b>	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進		
<b>施策成果指標</b>	入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人)		
	外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	国内外の旅行者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	観光関係協議会における広域連携による取り組みに加え、主として、国内では3大都市圏、海外では直行便の就航するアジアの主要都市などに対し、市場の嗜好性に合わせたプロモーションを実施した。  ○観光関係協議会による活動 ○現地説明会開催や観光展出演等によるPR ○メディア等を活用した情報発信 ○釜山・福岡アジアゲートウェイ(釜山広域市との共同PR)

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		34,890
歳入	特定財源	0
	一般財源	34,890
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H28	H30
歳出合計	39,126	26,580
歳入	特定財源	1,218
	一般財源	37,908
	26,580	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	招請事業や現地メディアを活用した情報発信、現地プロモーションなどにより観光都市福岡のPRを実施。	現地において福岡市の情報に接する機会が増加する。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客が増加する。	
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	情報発信・招請事業の件数	年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標		15	15	15	H 年度
実績		16	20		
達成率		106.7%	133.3%		
目標				H 年度	
実績					
達成率					
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	入込観光客数	年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標		18,200,000	-	-	H 年度
実績		20,500,000	未公表		
達成率		112.6%	-		
目標	1,500,000	-	-	H 年度	
実績	2,574,787	2,982,601			
達成率	171.7%	-			

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：国内外観光プロモーション事業＞		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部プロモーション推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		来福観光客数を増加させるためには、本市の魅力を発信し認知度の向上を図ることが必要であるため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	5-6-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進			
事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進			
				入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人)
				外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国内外の旅行者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	実行委員会及び(公財)福岡観光コンベンションビューローへ負担金を拠出し広報物を制作・配布  ・福岡観光ガイドブックの作成 (作成部数; 日本語48万冊・英語7万冊・韓国語5万冊・中国語6万冊(繁体字3万・簡体字3万)) ・福岡観光ポスターの印刷, 配布

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計	6,325	
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,325
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28      H30
歳出合計	6,733	6,461
歳入	特定財源	0      0
	一般財源	6,733      6,461

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウト</b> (どんな活動を行うのか) 観光情報について広報物を制作、観光展・観光案内所等において配布。	<b>②結果アウト</b> (活動の結果、どうなるのか) 福岡市の情報に接する機会が増加。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) 福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) 来福観光客数が増加する。																																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">観光ガイドブックの発行部数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">660,000</td> <td style="text-align: center;">660,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	観光ガイドブックの発行部数	目標	-	-	-	H年度	実績	660,000	660,000	-		達成率	-	-				目標				H年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">入込観光客数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">18,200,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">20,500,000</td> <td style="text-align: center;">未公表</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">112.6%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外国人入国者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">1,500,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">2,574,787</td> <td style="text-align: center;">2,982,601</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">171.7%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	入込観光客数	目標	18,200,000	-	-	H年度	実績	20,500,000	未公表	-		達成率	112.6%	-			外国人入国者数	目標	1,500,000	-	-	H年度	実績	2,574,787	2,982,601	-		達成率	171.7%	-		
	指標の内容		実績			目標																																																																																				
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																																				
	観光ガイドブックの発行部数	目標	-	-	-	H年度																																																																																				
実績		660,000	660,000	-																																																																																						
達成率		-	-																																																																																							
	目標				H年度																																																																																					
	実績																																																																																									
	達成率																																																																																									
指標の内容	実績			目標																																																																																						
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																																					
入込観光客数	目標	18,200,000	-	-	H年度																																																																																					
	実績	20,500,000	未公表	-																																																																																						
	達成率	112.6%	-																																																																																							
外国人入国者数	目標	1,500,000	-	-	H年度																																																																																					
	実績	2,574,787	2,982,601	-																																																																																						
	達成率	171.7%	-																																																																																							

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	外国クルーズ客船受入事業		
<b>所管課</b>	(旧所管課) 経済観光文化局観光コンベンション部プロモーション推進課 (現所管課) 経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。
<b>開始年度</b>	平成20年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-6-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	国内外への戦略的なプロモーションの推進			
<b>事業群</b>	クルーズ客拡大への取り組み			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	クルーズ客
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①着岸場所(岸壁・博多港国際ターミナル)での対応 ・岸壁での歓迎演出の実施 ・クルーズセンターでの語学ボランティアによる観光案内の実施等  ②受入体制等の充実 ・九州観光推進機構と連携した多言語ガイド研修の実施

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	9,749
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	9,749
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	11,857      7,160
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	11,857      7,160

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	ボランティアの配置等受入態勢の充実を図る。	クルーズ客に対して, 十分な観光案内ができる。	クルーズ客の満足度が上がり, また福岡に來たいと思う。	クルーズ客が増加する。	
	<b>活動の指標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
		年度	H28年度   H29年度   H30年度	年度	H28年度   H29年度   H30年度
		目標	最終年度	目標	最終年度

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	年度	H28年度   H29年度   H30年度	年度
		目標	130      320	目標
		実績	314      310	実績
		達成率	241.5%   96.9%	達成率
	目標	330	目標	

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	戦略的情報発信事業(一部)＜旧:外国クルーズ客船受入事業＞	
<b>所管課</b>	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部プロモーション推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。
<b>開始年度</b>	平成20年度	<b>背景</b>
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-6-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	国内外への戦略的なプロモーションの推進			
<b>事業群</b>	クルーズ客拡大への取り組み			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	クルーズ客
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	観光情報などの広報媒体を制作し、クルーズ客へ配布 ・観光マップ増刷: 4万部 ・記念品作成: 10万枚

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	3,300
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	3,300
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	1,721      1,805
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0              0
	<b>一般財源</b>	1,721        1,805

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	クルーズ客にとって分かりやすいパンフレット等を作成する。	クルーズ客がパンフレット等を見て観光しやすくなる。	クルーズ客の満足度が上がり、また福岡に来たいと思う。	クルーズ客が増加する。	
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>			
	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>			
	観光マップ等増刷部数	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)			
	年度	実績		目標	
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	目標	-	-	H 年度	
	実績	-	40,000	-	-
	達成率			-	
	目標			H 年度	
	実績			-	
	達成率			-	
	年度	実績		目標	
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	目標	130	320	H 年度	
	実績	314	310	330	-
	達成率	241.5%	96.9%	-	
	目標			H 年度	
	実績			-	
	達成率			-	

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分   重点  

<b>事業名</b>	観光バス受入環境の改善	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成28年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 福岡空港・博多港からの外国人入国者数が急増等を背景とした観光バスによる訪問先周辺の交通課題の解消を図るため、観光バスの受入環境の改善に取り組む。

基本計画					
<b>施策コード</b>	主	5-6-2			<b>施策成果指標</b>
	再	5-3-2	8-1-2		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
<b>施策</b>	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
<b>事業群</b>	クルーズ客拡大への取組み				

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	観光バスを利用した観光客
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され、周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに、観光客の満足度が向上する。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	・百道浜地区に訪問するクルーズ客用観光バスを対象とした駐車場の整備、及びショットガン方式の導入 ・出来町公園における観光バス乗降場の管理運営等を行う事業者公募の実施

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		59,163
歳入	特定財源	0
	一般財源	59,163
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H28	H30
歳出合計	27,364	40,234
歳入	特定財源	0
	一般財源	27,364

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	・交通指導員の配置による駐車場への誘導 ・公有地を活用した乗降場、駐車場の確保	・観光バスの乗車待ちや駐車場・乗降場への入庫待ちによる路上待機がなくなる。	・観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され、周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに、観光客の満足度が向上する。	・観光客が増加する。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	-	80.7	80.7	H 年度
実績		-	80.7			
達成率		-	100.0%			
目標				H 年度		
実績						
達成率						

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標				H 年度
		実績				
		達成率				
目標				H 年度		
実績						
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	クルーズ船観光客の受入調整		
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		寄港地観光の訪問先が固定化する傾向にあり、訪問先周辺における交通混雑や経済効果が見えづらい要因となっているため、訪問先・時間の分散化やFITの振興等によるツアーの多様化・上質化に取り組む。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画					
施策コード	主	5-6-2		施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値: 250回)
	再				
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
事業群	クルーズ客拡大への取組み				

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	クルーズ客
	対象をどのような状態にしたいのか	クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。
事業目的		

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄港地観光手配予約システムを活用した訪問先・時間の分散化</li> <li>・旅行代理店と観光施設、商業施設、飲食店等とのマッチングを行うクルーズ商談会の開催</li> <li>・FIT向けツアー商品の造成を目的とした船社や旅行代理店等の招請</li> </ul>

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
	歳出合計	19,326
歳入	特定財源	0
	一般財源	19,326
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28      H30
	歳出合計	19,698      13,213
歳入	特定財源	0              0
	一般財源	19,698      13,213

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間の分散化</li> <li>・FIT(訪日外国人個人旅行)の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間が分散化する。</li> <li>・多様な寄港地観光ツアーが造成される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客が増加する。</li> </ul>																								
	活動の指標	実績	目標	実績	目標																							
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <th>実績</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>達成率</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標				H 年度		実績						達成率							
指標の内容	年度	H28年度		H29年度	H30年度	最終年度																						
	目標				H 年度																							
	実績																											
	達成率																											
成果の指標(KPI)	実績	目標	実績	目標																								
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <td>130</td> <td>320</td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)</td> <th>実績</th> <td>314</td> <td>310</td> <td>330</td> <td></td> </tr> <tr> <th>達成率</th> <td>241.5%</td> <td>96.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	130	320		H 年度	外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	実績	314	310	330		達成率	241.5%	96.9%							
指標の内容	年度		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																						
	目標	130	320		H 年度																							
外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	実績	314	310	330																								
	達成率	241.5%	96.9%																									

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	クルーズ船誘致事業	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景
開始年度	平成21年度	
根拠法令	なし	
行政計画		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
海外船社によるアジアクルーズ市場開拓が進むについて、中国・韓国と近接する博多港のクルーズ寄港地としての需要が増大。客船寄港による経済効果が大きいことから、博多港の強みを活かした積極的な誘致活動が必要となっていた。		

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取組み		
施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値: 250回)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	船社・旅行代理店等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	クルーズ港としての博多港の認知度・イメージを向上し、北東アジアのクルーズ市場における博多港の地位を確立し、クルーズ客船の寄港増加・定着化につなげる。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様なクルーズ客船の誘致                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外船社、国内クルーズ関係企業等に訪問し、寄港誘致</li> <li>・海外コンベンションに参加し、クルーズ港としての博多港をPR</li> </ul> </li> <li>●博多港発着クルーズの振興                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民クルーズ、市民船内見学会等を実施</li> <li>・海外船社による日本海側定期定点クルーズの受入体制を他港と連携し強化</li> <li>・福岡クルーズ会議を開催</li> </ul> </li> </ul>

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
歳出合計		10,947	
歳入	特定財源	468	
	一般財源	10,479	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
歳入	歳出合計	11,355	10,115
	特定財源	0	515
	一般財源	11,355	9,600

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船社、旅行代理店等訪問による誘致活動</li> <li>・海外コンベンション等での博多港PR</li> <li>・港での受入体制充実</li> <li>・市民クルーズ、市民船内見学会等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船社、代理店等の寄港地選定権限のあるキーパーソンに、クルーズ港としての博多港が認知される。</li> <li>・乗客、乗員の博多港寄港時の満足度が向上する</li> <li>・博多港へのクルーズ船寄港に対し、市民の認知度や理解度が向上する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博多港がクルーズ寄港地に選定される</li> <li>・博多港のクルーズ港としてのイメージが向上する</li> <li>・博多港発着クルーズの市場が拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客船寄港及び乗客・乗組員による市内への経済効果が見込まれる</li> <li>・クルーズ拠点港として国内外へ博多港をPRすることができる</li> </ul>		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	2	2		H年度
実績		2	2	年1~2回		
達成率		100.0%	100.0%			
外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	実績	314	310	330		
	達成率	241.5%	96.9%			
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	IoT新サービス創出支援事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 多くのものがインターネットに繋がる時代を迎え、安くて少ない電力で使えるIoT向けの通信規格LPWAが注目を浴びてきた。企業へヒアリングを行った結果、LPWAの通信ネットワークに対するニーズが高いことがわかったため。	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	6-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再	8-2-3		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
<b>施策</b>	産学官連携による、知識創造型産業の振興			
<b>事業群</b>	知識創造型産業の振興			情報通信業の従業者数 (2022年度目標: 54,000人)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 福岡市内で実証実験を行うことでプロジェクトの成長を目指す市内外のスタートアップや既存企業等。
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> スタートアップや既存企業が、福岡市を舞台に実証実験を行う状態。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT向けの通信ネットワーク(Fukuoka City LoRaWAN)の整備 通信環境を提供してくれる事業者を公募。</li> <li>・利用者募集 市長会見にて通信ネットワークの整備の発表を行うとともに、利用する方の募集開始。(募集期間は年度末まで)</li> <li>・利用者サポート 利用者のデバイス(端末)やアプリケーション等の選定、開発に係る支援。説明会やセミナーの開催。デバイス貸出。</li> <li>・周知広報 委託事業者を通じ、国内の様々な展示会へ出展及び講演し取り組みを発表。</li> </ul>
-----------------	---

事業費(千円)			
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>			
	<b>歳出合計</b>	5,766	
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0	
	<b>一般財源</b>	5,766	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	<b>年度</b>	H28	H30
	<b>歳出合計</b>	0	7,383
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0	0
	<b>一般財源</b>	0	7,383

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を募集する。</li> <li>・利用者の実証実験が実施されるよう、サポートを行う。</li> <li>・利用にあたっての説明会やセミナーを開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業がネットワークを利用する。</li> <li>・利用者の理解が深まる。</li> </ul>	実証実験が促進される。	市内企業の活性化や、市外企業の福岡市への更なる集積を図り、福岡発の新サービス・製品の創出が期待できる。																																																									
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標				H 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td style="text-align: center;">10</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">20</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">160.0%</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標		10	20	H 年度	実績		16	達成率		160.0%	目標				H 年度	実績					達成率			
年度	実績			目標																																																									
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																									
目標				H 年度																																																									
実績																																																													
達成率																																																													
年度	実績		目標																																																										
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																									
目標		10	20	H 年度																																																									
実績		16																																																											
達成率		160.0%																																																											
目標				H 年度																																																									
実績																																																													
達成率																																																													

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	地方発イノベーション創出環境の構築事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度		地場企業が抱える課題のよらず相談による支援を行う中で、相談事業に対するニーズの高さとともに、課題解決に向けてより多くの研究機関、支援機関、企業のネットワークの必要性を把握したため。
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	6-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再	8-2-2		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
<b>施策</b>	産学官連携による、知識創造型産業の振興			
<b>事業群</b>	知識創造型産業の振興			情報通信業の従業者数 (2022年度目標値: 54,000人)
				市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (2022年度目標値: 1,000件)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	地場企業や九州圏内を中心とした企業、大学、公的研究機関、金融機関等
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	産学官連携による研究開発が活発に行われ、イノベーションが次々に起こる状態。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の技術的課題の解決や大学等の研究成果を産業界へ橋渡しするため、産学官金連携でイノベーションを推進する「ふくおか産学共創コンソーシアム」をH29.12に設立。設立に合わせ、内閣府、理化学研究所、九州大学、ISITと合同でフォーラムを開催し、約300名が参加した。</li> <li>・企業の技術的課題を解決する事業を「よらず相談事業」として、平成28年度からFiaSで実施。技術的課題の内容によっては、FiaSや九州大学に設置されている電子顕微鏡など高度な分析機器を有効活用。さらに、福岡市、九州大学、ISIT、(公財)九州大学学術研究都市推進機構の4者で連携協定をH29.12に締結し、各機関の分析機器等の相互利用促進など、相談対応の充実を図った。</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	24,367
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	11,719
	<b>一般財源</b>	12,648
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	0      23,228
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      10,474
	<b>一般財源</b>	0      12,754

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析ネットワーク等を通じて、企業の潜在的課題を掘り起こし、その解決を支援する。</li> <li>・産学官金からなるネットワークを形成し、企業の技術的課題の解決や大学等の研究成果の産業界への橋渡しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等の技術力・研究開発力の向上や産学連携が促進される。</li> <li>・ネットワーク活動のなかから、共同研究・開発の検討・展開を行う場が生まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官金連携による共同研究・開発が活発に行われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場企業の研究開発力の向上やベンチャー企業の創出</li> <li>・研究開発等を行う企業・研究機関等の元岡地区への集積</li> </ul>	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度   H29年度   H30年度	年度	H28年度   H29年度   H30年度
	目標		目標	H 年度	
	実績		実績	5	
	達成率		達成率	10	
	目標		目標	200.0%	
	実績		実績	70	
	達成率		達成率	102	
	目標		目標	100	
	実績		実績	145.7%	
	達成率		達成率		

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	水素リーダー都市プロジェクト	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成26年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 平成26年12月の燃料電池自動車の市販開始を契機に、国内外において水素エネルギー・燃料電池の市場拡大と関連分野を含めた新たな市場化が見込まれることから、地場企業を中心に水素エネルギーの産業化を進めることとしたため。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	6-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	経済活動が発達で、たくさんの働く場が生まれている			
<b>施策</b>	産学官連携による、知識創造型産業の振興			
<b>事業群</b>	知識創造型産業の振興			情報通信業の従業者数 (2022年度目標値: 54,000人)  市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (2022年度目標値: 1,000件)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	地場企業を中心とした水素関連企業
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界初の下水バイオガス水素ステーションを産学官連携で運営し、水素製造の耐久性やコスト低減の検討を行う自主研究を実施した。(H27.3中部水処理センターに開設。H28年度から運営)</li> <li>・H29nも引き続き「燃料電池小型トラックの技術開発・実証」など先進的なプロジェクトに取り組むとともに、「燃料電池バイクの公道走行」など企業の新たな取組みを支援した。</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		34,194
歳入	特定財源	81
	一般財源	34,113
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H28      H30
	歳出合計	22,473      35,503
歳入	特定財源	0              0
	一般財源	22,473      35,503

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	○下水バイオガス水素ステーションの自主研究及び視察対応を行う。 ○“グリーン水素”利活用について、水素関連企業などと協議する。	○福岡市の先進的な取組みが認知される。 ○新たな水素利活用プロジェクトが組成される。	国プロジェクト等の水素を利活用した取組みが市内で行われる。(福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態)	地場企業などの水素関連企業のビジネス拡大や大学との共同研究が期待できる。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	1	1	1	H 年度
実績		1	1	H 年度		
達成率		100%	100%		達成率	

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>水素利活用プロジェクト数</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	3	3	3	H 年度
		実績	3	4		H 年度
		達成率	100%	133%		達成率
目標				H 年度		
実績				達成率		
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	商工金融資金・金融対策, 経営支援施策普及事業, 金融事務費	
<b>所管課</b>	経済観光文化局中小企業振興部 経営支援課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 中小企業は, 大企業と比較すると, 金融機関からの融資など新たな資金調達に困難である場合が多い。
<b>開始年度</b>	昭和24年	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	6-3-1		<b>施策成果指標</b> 全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合 (2021年目標値: 1.50%)
	再			
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
<b>施策</b>	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化			
<b>事業群</b>	中小企業の振興			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	福岡市内で事業を営む中小企業者
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	低利・固定金利の融資制度で金融機関からの資金調達を支援することにより, 中小企業者の経営の安定化や事業の拡大等を図る。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	制度改正の実施 ・小口事業資金の融資利率を引下げ ・女性スタートアップ資金の創設 ・ステップアップ資金の融資期間を延長 ・継続型バックアップ資金の融資限度額を引上げ ・経営安定化特別資金の継続実施
		十分な融資枠の確保: 平成29年度融資枠2,462億円 経営支援施策普及事業の実施: 市内事業所9,316件(H30.2末時点)を訪問 相談窓口の運営: 相談件数7,277件(H30.2末時点)

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	76,854,091	
	<b>特定財源</b>	<b>歳入</b>	75,946,161
		<b>一般財源</b>	907,930
前年度決算額・翌年度予算額			
	<b>年度</b>	H28	H30
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	82,111,603	75,172,344
	<b>特定財源</b>	80,976,005	74,287,522
	<b>一般財源</b>	1,135,598	884,822

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資制度の充実強化</li> <li>・十分な融資枠の確保</li> <li>・経営支援施策普及事業</li> <li>・相談窓口の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業者の資金調達の円滑化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金繰DIの改善継続</li> <li>・倒産件数減少の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の振興, 経済の活性化</li> </ul>																																																																								
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">経済対策資金を除く新規貸付件数(制度融資は民業補完が基本であり, 本指標は制度の進捗評価には直結しない)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">5,269</td> <td style="text-align: center;">4,775</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経営支援施策普及事業訪問件数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">9,144</td> <td style="text-align: center;">9,732</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">114.3%</td> <td style="text-align: center;">121.7%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	経済対策資金を除く新規貸付件数(制度融資は民業補完が基本であり, 本指標は制度の進捗評価には直結しない)	目標	-	-	-	H年度	実績	5,269	4,775	-	達成率	-	-	経営支援施策普及事業訪問件数	目標	8,000	8,000	5,000	H年度	実績	9,144	9,732	-	達成率	114.3%	121.7%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度		目標				H年度	実績				達成率				目標				H年度	実績				達成率				
指標の内容	年度			実績		目標																																																																						
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																							
経済対策資金を除く新規貸付件数(制度融資は民業補完が基本であり, 本指標は制度の進捗評価には直結しない)	目標	-	-	-	H年度																																																																							
	実績	5,269	4,775		-																																																																							
	達成率	-	-																																																																									
経営支援施策普及事業訪問件数	目標	8,000	8,000	5,000	H年度																																																																							
	実績	9,144	9,732		-																																																																							
	達成率	114.3%	121.7%																																																																									
指標の内容	年度	実績		目標																																																																								
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																							
	目標				H年度																																																																							
	実績																																																																											
	達成率																																																																											
	目標				H年度																																																																							
	実績																																																																											
	達成率																																																																											

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	商店街の活性化(商店街インバウンド対策支援事業, 地域との共生を目指す元気商店街応援事業, 商店街活性化パートナー発掘事業)	
<b>所管課</b>	経済観光文化局中小企業振興部 地域産業支援課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 大型商業施設の進出や消費者の消費動向の変化により、商店街がその魅力と活力を失い、その結果、これまで商店街が実施してきた地域経済や地域コミュニティを担う機能が衰え、地域が衰退している。このため、商店街を再び魅力的で、活力あふれるものとしたいと考えたため。
<b>開始年度</b>	昭和43年	
<b>根拠法令</b>	中小小売商業振興法, 中小企業振興条例	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	6-3-2	
	再		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
<b>施策</b>	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化		
<b>事業群</b>	商店街の活性化		
<b>施策成果指標</b>	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合 (2021年目標値: 1.50%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 商店街組織
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 商店街組織が行う、経済活動やまちづくり活動への支援を行い、商店街のもつ「買い物の場」「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮し、活性化する。

<b>実施内容(手段)</b>	<p>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 急増する外国人観光客の消費取込みや、地域における社会課題解決に向けた取組みなど、商店街を取り巻く環境の変化に対応した取組みを支援するとともに、商店街を支える人材の確保や商店街と地域との連携の取組み、集客力・販売力を高める取組みを支援することにより、商店街の活性化を図った。</p> <p>【重点事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>商店街インバウンド対策支援事業(補助金): 2団体</li> <li>地域との共生を目指す元気商店街応援事業(補助金): 2団体</li> <li>商店街活性化パートナー発掘事業(負担金): 3団体</li> </ol>
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計	6,143	
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,143
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H28	H30
歳出合計	3,773	6,171
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,773

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客受入環境整備の取組みに対する支援</li> <li>地域の高齢化等の社会課題解決に向けた取組みに対する支援</li> <li>外部からの新しいアイデアの取込みや、ともに活性化に取り組むパートナーの発掘を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街組織が、市の施策を活用し、急増する外国人観光客の消費取込みや、地域における社会課題解決に向けた取組み、外部からの新しいアイデアの取込みやともに活性化に取り組むパートナーの発掘などを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街活動が活発となり、新規出店や非加入店舗の組織への加入などが促される。</li> <li>商店街と地域との連携が促進するとともに、商店街の地域コミュニティの担い手としての機能が強化される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済を支える地場中小企業などの競争力が強化される。</li> </ul>		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	-	2.0	3.0	H32年度
実績		-	2.0	5.0		
達成率		-	100.0%			
目標	4.0	5.0	6.0	H32年度		
実績	4.0	6.0		8.0		
達成率	100.0%	120.0%				

※1 H25実態調査結果: ①商店街当たりの平均店舗数39.9店舗

※2 H25実態調査結果: 地域型・近隣型商店街に占める割合30.6%

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	伝統産業の振興(博多織・博多人形多角化支援事業, インバウンド向け伝統工芸品開発事業)	
<b>所管課</b>	経済観光文化局中小企業振興部 地域産業支援課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国指定の伝統的工芸品である博多織・博多人形は、数百年もの長い歴史の中で培われ、受け継がれてきた伝統工芸品であり、地域産業の発展に貢献してきたが、生活様式の変化による需要の減少による企業の零細化、後継者不足など、厳しい状況にある。
<b>開始年度</b>	昭和49年	
<b>根拠法令</b>	伝統的工芸品産業の振興に関する法律	
<b>行政計画</b>	第9次基本計画	

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	6-3-3	
	再		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
<b>施策</b>	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化		
<b>事業群</b>	伝統産業の振興		
<b>施策成果指標</b>	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合 (2021年目標値: 1.50%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	・一般市民(福岡市民・国内外の観光客等) ・博多織・博多人形をはじめとする伝統産業業界
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	・博多織・博多人形などの伝統工芸品の魅力が広く一般市民に認知されている。 ・伝統工芸品の認知度向上・販売額増加により、伝統産業業界全体の活性化がなされており、後継者が確保されている。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	・博多織・博多人形多角化支援事業 →産地の課題解決(販売方法の改善等)を目的に、民間事業者による展示方法の講習会等、展示販売等を実施。若手作家の育成を図るとともに、これまで伝統産業と距離があった若い年齢層への認知度向上を図った。  ・インバウンド向け伝統工芸品開発事業 →近年増加傾向にある外国人観光客向け博多織・博多人形の商品開発を支援し、需要の取り込みを図った。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		2,716
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,716
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H28      H30
歳出合計	1,000	700
歳入	特定財源	0      0
	一般財源	1,000      700

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)		
	インバウンド向け伝統工芸品開発事業に博多織・博多人形多角化支援事業を統合し、インバウンド需要の取り込みを目指す若手作家を中心に、商品開発や販路開拓等の支援を行う。	若手作家の活躍の場が増え、外国人観光客向けの商品が開発される。	・博多織業界の従事者数が増加する。 ・博多人形業界の従事者数が増加する。 ・博多織・博多人形を購入する国内外の観光客が増加し、認知度が向上する。 ・若手作家の意欲醸成に繋がる。	・若手作家を中心とする積極的なPR活動により、本市伝統工芸品の魅力が国内外で広く認知されている。 ・様々なアイデアや可能性を取り入れた商品開発が行われ、販路拡大に繋がり、産業が活性化している。 ・上記環境の中で、後継者が確保され、技術の継承がなされている。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	—	3	6	H32年度
実績		—	3	12		
達成率		—	100.0%			
目標						
実績						
達成率						

  

<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
	目標	366	355	前年度比増加	H30年度
	実績	355			
	達成率	97.0%			
目標	200	195	H 年度	前年度比増加	
実績	195				
達成率	97.5%				

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	正社員就職支援事業	
<b>所管課</b>	(旧所管課)経済観光文化局中小企業振興部就労支援課 (現所管課)経済観光文化局中小企業振興部経営支援課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		<b>背景</b>
各区市民相談窓口で実施されていた、国の事業である高齢者就職相談窓口の廃止に伴い、市民の求職活動の利便性維持のため事業を開始した。		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	6-5-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
<b>施策</b>	就労支援の充実			
<b>事業群</b>	就労支援の取組み			<b>施策成果指標</b>
市の施策による就労者数 (H34年度目標値: 1,400人)				

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	就労相談窓口の一般相談を利用する正社員就職希望の求職者
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	正社員就職
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	①正社員希望者と求人企業とのマッチング強化 → 正社員就職支援員(仮称)を1人配置。(週2日) → 求職者の希望や適性等を踏まえて正社員求人を開拓し、求人企業の希望等のすり合わせを綿密に実施。
		②相談支援の充実 → 就労相談窓口(一般相談)を巡回する臨床心理士を1人配置。(週2日) → 各区の相談員とともに相談支援を行って、一般相談の支援の中で自信回復や不安解消など精神面のサポートを実施。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	4,500
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	4,500
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	0      4,500
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	0      4,500

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)		
	・就労相談窓口を利用する求職者に対し、 →正社員就職支援員による支援 →巡回臨床心理士による各区での支援を行う。	・正社員就職希望者が、自分に合った求人(会社)と出会い、応募する。	・正社員就職希望者が正社員就職する。	・市の施策による就労者数が増加する。		
<b>活動の指標</b>	<b>正社員求人獲得数</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>		
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	-	-	650	H年度
		実績	-	630	650	H年度
	達成率	-	-	-	55.0%	
	目標	-	-	-	H年度	
	実績	-	-	-	H年度	
	達成率	-	-	-	H年度	
	<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>正社員就職率</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
			年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標			-	-	-	H32年度
実績			49.8%	37.6%	-	55.0%
達成率		-	-	-	55.0%	
目標		-	-	-	H年度	
実績		-	-	-	H年度	
達成率		-	-	-	H年度	

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	スタートアップカフェの運営		
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業・大学連携課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成26年度		スタートアップ都市づくりの拠点として、スタートアップカフェを開設し、スタートアップの裾野を拡大するための場の提供、及び様々な支援団体のネットワークハブ機能を提供。
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	再	7-1-1
<b>分野別目標</b>			相談対応件数
<b>施策</b>			創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
<b>事業群</b>			新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり 「グローバル創業都市・福岡」の実現

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 創業予定者、創業して間もない企業、個人
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> スタートアップの裾野を広げ、都市の成長を促進する。

<b>実施内容(手段)</b>	<p><b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b></p> <p>スタートアップに関する情報提供・相談・交流機能や創業手続きに関する創業ワンストップ機能、人材のマッチング・再チャレンジや雇用に関する相談などの人材確保支援機能を提供した。</p> <p>事業実施場所: Fukuoka Growth Next 福岡市中央区大名2丁目6番11号 (受託事業者: 株式会社九州TSUTAYA)</p> <p>開設日: 平成26年10月11日</p> <p>平成29年度実績 相談対応件数: 2,003件 創業関連イベント開催数: 395回 イベント参加者数: 述べ約9,200名</p>
-----------------	---

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
	<b>歳出合計</b>		67,591
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>		0
	<b>一般財源</b>		67,591
前年度決算額・翌年度予算額			
	<b>年度</b>	H28	H30
	<b>歳出合計</b>	67,759	64,773
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0	0
	<b>一般財源</b>	67,759	64,773

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<p style="text-align: center;"><b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)</p> <p>「スタートアップカフェ」を開設し、コーディネーターによる相談対応やネットワーク構築、各種創業関係イベントの実施</p>	<p style="text-align: center;"><b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>相談対応件数が増加する。</p>	<p style="text-align: center;"><b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>スタートアップカフェのネットワークを活用し、多くの創業者を輩出する。</p>	<p style="text-align: center;"><b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>・経済の新陳代謝により、都市の成長が促進される</p>
	▶	▶	▶	▶
	▶	▶	▶	▶

  

活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標	
			H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
相談対応件数	目標		1,400	1,600	1,700	H 年度
	実績		1,969	2,003		H30年度
	達成率		140.6%	125.2%	13.0	H 年度
	達成率					H 年度

  

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標	
			H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
開業率向上	目標		-		13.0	H 年度
	実績		7.7			H30年度
	達成率		-		13.0	H 年度
	達成率					H 年度

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	外国人創業活動促進事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業・大学連携課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成27年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正され施行された。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現			申請件数

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 福岡市で創業を志す外国人
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 海外から人材の集積や投資の促進を図るとともに、外国人創業者のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、「グローバル創業都市・福岡」の実現と新たな雇用を生み出していく。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> ○外国人への広報 外国人へ本事業を周知する。 ○創業活動計画の確認、創業活動確認証明書の交付 ・外国人の創業活動計画が上陸後6ヶ月以内に上記要件を満たす見込みがあるのかなどについて、中小企業診断士に診断を依頼し、市が確認を行う ・見込みのある外国人に対して、市が創業活動確認証明書を交付する ○創業活動計画の進捗確認 ・上陸後6ヶ月の間、創業活動計画の進捗を確認し、状況に応じてコンシェルジュ等が支援を行う。 ・進捗が良好でない場合は、本国に帰国を促す ○スタートアップカフェ(主にグローバル・スタートアップ・センター)を中心に、外国人の創業相談の受付や支援を実施 ・コンシェルジュが事業化の相談を受け、必要に応じてネットワークにつなぐ
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
<b>歳出合計</b>		1,578
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	5
	<b>一般財源</b>	1,573
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	1,796      2,337
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	7      6
	<b>一般財源</b>	1,789      2,331

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	外国人へ事業の周知を行う。 外国人の創業活動計画を確認する。	本事業を利用して在留資格を取得しようとする外国人起業家が増える。	市内で起業する外国人が増える。	外国人創業者のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、海外から人材が集積し、投資が促進される。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度   H29年度	H30年度   最終年度	年度	H28年度   H29年度   H30年度   最終年度
	申請件数	目標      20      20	20	H年度	目標      -      -	H30年度
		実績      25      18		13.0	実績      7.7      -	
		達成率   125.0%   90.0%		H年度	達成率      -      -	
		目標		H年度	目標	
		実績			実績	
		達成率			達成率	

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	スタートアップ支援施設運営事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業・大学連携課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 平成24年のスタートアップ都市宣言や平成26年の国家戦略特区の指定を経て、創業の裾野を広げた福岡市では、ロールモデルという成功事例を生み出すために、起業家だけでなく、技術や資金、専門家、支援者、ネットワークなどが揃ったエコシステムを構築し化学反応を起こすような施設を運営するために平成29年4月に「Fukuoka Growth Next」を開設。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			なし
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	創業して間もない企業、個人
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	地場企業との連携や資金調達の拡大などにより、スタートアップ企業が成長する。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	企業の更なる成長や既存中小企業の第二創業促進を図るために、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設を旧大名小学校に整備し、開設した。  開設日：平成29年4月12日 実績(平成30年3月末現在) ビジネスマッチング件数：14,058回 雇用増加者数：102人 投資件数及び投資額：19社37億円

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	69,464
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	69,464
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	0      73,430
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	0      73,430

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	成長支援プログラムやセミナー・ピッチ等のイベントを定期的に実施する。	企業同士やVCとのビジネスマッチング件数が増加する。	販路拡大や投資拡大により、スタートアップ企業が成長する。	福岡市から新たな価値やイノベーションが生まれ、雇用創出や地域経済が発展する。	
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
	ビジネスマッチング件数	年度	H28年度	H29年度	H30年度
目標		-	5,000	25,000	H 年度
実績		-	14,058		H30年度
達成率		-	281.2%		4,000,000
スタートアップ企業への総投資額(千円)	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
	目標	-	500,000	4,000,000	H30年度
	実績	-	3,700,000		4,000,000
	達成率	-	740.0%		H30年度
<b>成果の指標(KPI)</b>	目標				H30年度
	実績				
	達成率				

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	福岡スタートアップ・サポーターズ協議会事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業・大学連携課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成24年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	政策推進プラン	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 国内のみならず、アジアや世界で活躍できるような起業家の発掘・育成を通して、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指し、もって地域経済の活性化を図ることを目的に平成24年11月30日に設立された。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再	6-3-1		
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現			
				新設事業所数 (H34年度目標値: 850事業所/年)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	①スタートアップ ②地場中小企業
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	①資金調達によってスケールアップする状態。 ②新たな事業展開や成長・発展が創出される状態。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①スタートアップ成長支援プログラム ・有望なスタートアップ10社に対し、個別メンタリング及び資金調達に向けたVCとのマッチングを実施。 ・プログラムの専用WEBサイトを設置し、参加企業のPRを実施。 ・平成29年11月7日と平成30年3月8日に参加企業のDemoDayを実施。 ②フクオカ・スタートアップ・セレクション ・「フクオカ・スタートアップ・セレクション2017」を平成29年11月7日に開催。 ・特別講演やスタートアップによるピッチ、企業ブース、ワークショップなど様々なコンテンツを通して、ビジネスマッチングを促進。

事業費(千円)			
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計	16,048		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	16,048	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	H28	H30
	歳出合計	10,604	6,814
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	10,604	6,814

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	①有望なスタートアップの情報収集・集約。有望なスタートアップについて、マッチングイベントや専門メディアでの情報発信を通じたVC等への情報提供。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングイベントを開催する。	①有望なスタートアップとVCとのマッチングがすすむ。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングがすすむ。	①資金調達によってスケールアップする(スケールアップする成功モデルが創出される)。 ②地場中小企業の新たな事業展開や成長・発展が創出される。	①有望な市内スタートアップとVCが積極的にマッチングする環境が形成され、起業→資金調達→成長→更なる起業といった、スタートアップエコシステムが構築される。 ②地場中小企業の競争力・経営基盤の強化が図られる。	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
<b>活動の指標</b>	VCとのマッチングに参加するスタートアップの数	10	10	10	H年度
		15	10		
	達成率	150.0%	100.0%		
	スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングイベントに参加する企業数	150	320	400	H年度
		295	444		
達成率	196.7%	138.8%			
<b>成果の指標(KPI)</b>	ベンチャーキャピタルからの投資件数	1	1	1	H年度
		1	4		
	達成率	100.0%	400.0%		
	スタートアップ企業と既存企業のマッチング件数	50	50	50	H年度
		43	290		
達成率	86.0%	580.0%			

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	外国人創業環境形成事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業・大学連携課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成28年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正、施行され、制度活用を推進するなかで、市独自の支援メニューを充実し、外国人創業者の環境形成を図る具体的な事業展開が必要であった。		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			応募件数
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 優れたビジネスプランを持つ外国人創業者
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 外国籍の方が創業しやすい環境を整備するため、住居および事業所の賃料補助を実施することで、事業展開に集中し、福岡市から新たな価値や地域の雇用を生む事業者へ成長できる環境を提供したい。

<b>実施内容(手段)</b>	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○補助金の募集活動 外国人創業者へ事業周知を行うため、英語版の募集案内・チラシを配架した。 ○認定事業の採択・補助金の交付 平成28年度および平成29年度の各年度ごとに事業認定を行った事業者に対し、住居および事業所の賃料の一定額に相当する額を補助金として支援した。 採択件数：平成28年度 5件 平成29年度 4件 ○認定事業者へのフォロー 定期的な訪問を通じて、事業の実施状況の確認や適宜スタートアップイベント等の紹介した。 ○海外でのPR スタートアップビザと合わせて、パッケージとして海外でのイベント等で紹介した。
-----------------	--

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計	4,270	
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,270
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H28	H30
歳出合計	2,772	9,288
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,772
	9,288	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	○優れたビジネスプランをもつ外国人創業者へ、家賃と事業所の賃料に対し補助を実施するための認定事業者の募集を行う。	○外国人創業者の本事業への関心が集まり、募集期間前～募集期間中に問い合わせが来る。	○事業認定を受けた外国人創業者は、スタートアップが成長していくうえで重要な時期に福岡市から経済的な支援を受けることで、事業に集中することが出来る。	○グローバルな視点をもつ外国人創業者が福岡市に集積することで、新たな価値だけでなく、地域の雇用も創出されるようになる。	
	○スタートアップビザとのパッケージとして海外でのスタートアップイベント等でPRを行う。	○スタートアップビザを活用した外国人創業者の募集件数が増える。	○福岡市内での外国人創業者の集積が進む。	○外国人創業者だけでなく、チャレンジマインドをもった起業家の集約が進み、グローバル創業都市・福岡が実現する。	
	○外国人創業者および外国人創業予定者に対して、個別に制度説明を行う。				
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	
<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>		
応募件数	採択件数	年度	年度	年度	年度
		H28年度	H28年度	H28年度	H28年度
		H29年度	H29年度	H29年度	H29年度
		H30年度	H30年度	H30年度	H30年度
最終年度	最終年度	最終年度	最終年度		
目標	目標	目標	目標		
実績	実績	実績	実績		
達成率	達成率	達成率	達成率		
H 年度	H 年度	H 年度	H 年度		
H31年度	H31年度	H31年度	H31年度		
20	5	5	5		
8	5	4	5		
40.0%	100.0%	80.0%	5		
55.0%					

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

		事業区分	重点	基本計画		
<b>事業名</b>	福岡市実証実験フルサポート事業					
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課(平成30年度からは総務企画局企画調整部へ移管)	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>			<b>施策コード</b>
<b>開始年度</b>	平成28年度		民間事業者による、スタートアップを対象としたピッチコンテストが数多く開催されているが、行政が関与し得る支援策の具体的なニーズについて、創業経験者等へヒアリングを行った結果、実証実験のフィールド提供に対するニーズが高いことがわかったため。			
<b>根拠法令</b>	なし					
<b>行政計画</b>	なし					
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		<b>施策成果指標</b>	なし		
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり					
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現					

## 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内で実証実験を行うことでプロジェクトの成長を目指す市内外のスタートアップ等。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 当該スタートアップ等が福岡市を舞台に実証実験を行う状態。また、メディアに取り上げられる状態。

<b>実施内容(手段)</b>	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象プロジェクト 製品化に近い段階のプロジェクトを選定。</li> <li>・採択者発表 市長による採択者の授賞式を実施。</li> <li>・福岡地域戦略推進協議会(共同事業者)による情報発信 共同事業者のウェブサイト、SNS活用によるプロジェクト募集、採択結果発表、実験進捗報告を掲載。</li> <li>・実証実験実施に向けたサポート 市役所内の関係局との調整、モニター募集など</li> </ul>
-----------------	---

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		12,244
歳入	特定財源	0
	一般財源	12,244
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H28      H30
歳出合計	12,841	-
歳入	特定財源	0
	一般財源	12,841

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験プロジェクトを公募、選定する。</li> <li>・採択プロジェクトの実証実験が実施されるよう、サポートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の実施可能性の高い採択者が決まる。</li> <li>・採択者の実証実験の準備が整う。</li> </ul>	選定されたプロジェクトが福岡市内で実証実験を行う。メディアに取材される。	市内企業の活性化や、市外企業の福岡市への更なる集積を図り、福岡発の新サービス・製品の創出が期待できる。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標				H 年度
実績						
達成率						
<b>成果の指標(KPI)</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	目標		10		H 年度	
	実績	6.0	10			
	達成率	-	100.0%			

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	クリエイティブ関連産業の振興		
<b>所管課</b>	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成24年度		本市には、都市規模を上回るクリエイティブ関連産業の集積があり、今後も本市の成長エンジンとして地域経済を牽引していくことが期待される中、これらの関連産業について、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン等業種に応じた産業振興が必要となるため。
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画					
<b>施策コード</b>	主	7-3-1		<b>施策成果指標</b>	クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値: 2,900事業所)
	再				
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
<b>施策</b>	個人の才能が成長を生む創造産業の振興				
<b>事業群</b>	クリエイティブ関連産業の振興				

**【事業概要】**

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン)</li> <li>・個人のクリエイター</li> <li>・クリエイティブ関連分野を専攻している学生</li> </ul>
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、個人クリエイターの販路が拡大、収益増加している。</li> <li>・クリエイティブ関連企業への就職希望者が就労できている。</li> </ul>

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲーム ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。</li> <li>○映像 映像分野では、NPO法人映像コンテンツ研究会などと連携をし、国内外の展示会参加やビジネスマッチングを実施して、映像コンテンツの販売支援やネットワーク構築を図った。</li> <li>○ファッション ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。</li> <li>○音楽 音楽分野では、福岡ミュージックマンスに参画し、音楽都市としてのブランディングを図るとともに、一層の集客や関連産業の振興を図った。</li> <li>○デザイン デザイン産業分野では、NPO法人福岡デザインリーグや九州アートディレクターズクラブなどのデザイン関連団体などと連携してデザイン関連産業の振興を図った。</li> </ul>

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	28,549	
	<b>特定財源</b>	111	
	<b>一般財源</b>	28,438	
前年度決算額・翌年度予算額			
<b>歳入</b>	<b>年度</b>	H28	H30
	<b>歳出合計</b>	32,649	21,680
	<b>特定財源</b>	140	620
	<b>一般財源</b>	32,509	21,060

**【ロジックモデル・指標の達成度】**

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)						<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)						<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)						<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	1.人材育成事業(インターシップ、コンテスト、セミナー等)						・就労希望者が地場企業の必要としているスキルが身に着く。						・人材確保における企業と就労希望者とのミスマッチングが少なくなる。						本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。	
	2.販路拡大事業(展示商談会出展支援等)						・地場企業が国内外のバイヤーと商談できる。						・地場企業が販路拡大・収益増加。							
	3.イベントの開催(ゲームイベント、FACo等)						・イベント等でのクリエイターの発表の場ができる。						・情報発信により福岡ブランドが定着する。							
	4.情報発信事業						・国内外での事業認知度が上がる。													
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>年度</b>	<b>実績</b>			<b>目標</b>			<b>年度</b>	<b>実績</b>			<b>目標</b>							
		<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>H30年度</b>	<b>最終年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>H30年度</b>		<b>最終年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>H30年度</b>	<b>最終年度</b>						
	<b>インターシップ開催回数</b>	<b>目標</b>	3	3	3	H32年度	1,500	1,650	1,800	H32年度	1,500	1,650	1,800	H32年度						
		<b>実績</b>	3	3	2	2	1,615	1,715	1,800	1,800	1,615	1,715	1,800	1,800						
		<b>達成率</b>	100.0%	100.0%	66.7%	50.0%	107.7%	103.9%	100.0%	100.0%	107.7%	103.9%	100.0%	100.0%						

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	アジアフォーカス・福岡国際映画祭	
<b>所管課</b>	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成3年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
平成元年のよかとぴあ開催、福岡アジア文化賞創設などの“アジア太平洋都市宣言”の旗印のもと行われた一連のアジア施策の一環として、映画を通じて行う文化交流として映画祭が始まった。		

基本計画					
<b>施策コード</b>	主	7-3-1			<b>施策成果指標</b>
	再	1-4-2	5-1-2		
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
<b>施策</b>	個人の才能が成長を生む創造産業の振興				
<b>事業群</b>	クリエイティブ関連産業の振興				
クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値: 2,900事業所)					

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	①市民、観客 ②映像産業関連企業、クリエイター
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	①映画を通じてアジアに対する理解と文化交流を促進する。大勢の観客で賑わう。 ②福岡から優れたアジア映画を世界に発信し、新しい才能を発見、育成する。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	キャナルシティ博多をメイン会場に、質の高いアジア映画の上映に加え、監督や出演者等、招聘ゲストを招いたQ&Aやシンポジウム等を実施した。  ○人材育成事業 日本と東南アジアの若手映画制作者向け交流ワークショップ等を実施した。 ○商談会「ネオ・シネマップ福岡」 アジア各国からバイヤー・セラーが来場し、完成した映像作品の売買だけでなく、これから撮影をする映像作品の企画ピッチの場を設けた。 ○関連企画 民間主体で実施されている映画・映像イベントと連携するとともに、新たに映像技術者向け会議「レストレーションアジア」の開催を支援した。

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		48,511
歳入	特定財源	467
	一般財源	48,044
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H28      H30
歳出合計	53,085	41,431
歳入	特定財源	465      515
	一般財源	52,620      40,916

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	・映画祭を企画・運営する(作品、ゲスト、シンポジウム、イベント等) ・ポスター、リーフレットの製作やHP、facebookなどでの情報発信、記者リリースなどより映画祭の周知を図る ・クリエイティブ関連産業事業を企画・運営する	・作品とゲストを招待し、ゲストとの交流事業を実施する ・人材育成事業、商談会を実施し、企画・運営する ・クリエイティブ関連イベントを実施する	・国内外の映画・映像関係者が交流する ・商談成立し、様々な作品が日本で流通する ・日本(福岡)での撮影作品が決定する ・観客数が増える(映画祭に親しみを感じる、誇りに思う市民が増える) ・新聞や雑誌、テレビなどでのニュースパブリシティが増える	・まちの賑わい創出、ビジネスマッチング、人材育成など新しい機能を組み込み、「クリエイティブ・エンターテインメント都市」づくりに貢献する ・クリエイティブ関連産業の事業所数が増加する		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>活動の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	60	60	90	H 年度
実績		67	91			
達成率		111.7%	151.7%			
目標				H 年度		
実績						
達成率						

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>成果の指標</b>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	250	250	250	H 年度
		実績	312	222		
		達成率	124.8%	88.8%		
目標				H 年度		
実績						
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成24年度		市内のクリエイティブ関連企業からは、分野を超えた交流の場やイベント等を通じた情報発信、スタートアップ支援のニーズが高い。クリエイティブ・エンターテインメント分野は、福岡市の強みを活かせる分野であり、時代を担う産業分野として積極的に振興を図る。
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-3-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
<b>施策事業群</b>	個人の才能が成長を生む創造産業の振興 エンターテインメント都市づくり			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内クリエイティブ関連企業（ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン）</li> <li>・個人のクリエイター</li> <li>・クリエイティブ関連分野を専攻している学生</li> </ul>
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種の枠を超え、企業、クリエイターが活発に交流している。</li> <li>・またその交流から、新たなビジネス機会、価値が生まれている。</li> </ul>

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジアンパーティの開催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭、福岡アジア文化賞、クリエイティブフェスタの主要事業に加え、アジアとクリエイティブをテーマとした民間企業・団体等の各種事業と連携を図り、「アジアンパーティ」として9月～10月に集中開催。</li> <li>○クリエイティブ福岡推進協議会の運営 異業種交流を目的としたセミナー・交流会、ホームページ・メールマガジン等を活用した情報発信事業等を実施。</li> <li>○クリエイティブフェスタの開催(9月) 国内外に広くPRする広告塔的イベントとして、「The Creators」を開催。2日間で延べ85,000名を集客した。</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成29年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	83,558
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	83,558
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H28      H30
	<b>歳出合計</b>	75,074      82,134
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	75,074      82,134

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジアンパーティの開催</li> <li>○クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の事業実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・交流会等の開催</li> <li>・情報発信事業(ホームページ等の運営)</li> <li>・クリエイティブフェスタの開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でクリエイターの発表の場を提供する。</li> <li>・イベント等で市民の方々がクリエイティブ関連分野の最新技術に触れる機会を提供する。</li> <li>・企業、クリエイターとの情報交換やネットワーク構築の場を提供する。</li> <li>・情報発信を通じて事業の認知度が向上、事業の参加者が増加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、クリエイターにおいて異業種間も含めた交流が活発化する。</li> <li>・アジアンパーティの時期に国内外のクリエイターが福岡に集まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。イベント等を通じた国内・海外への情報発信を通して「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」のブランディングができています。</li> </ul>			
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		セミナー・交流会の開催数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	5	5	5	H32年度
実績			7	5	5		
達成率			140.0%	100.0%			
目標				H年度			
実績							
達成率							

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	アジアンパーティの参加者数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	465,000	465,000	465,000	H32年度
		実績	570,065	570,095		465,000
		達成率	122.6%	122.6%		465,000
目標				H年度		
実績						
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	アジアビジネス促進・支援事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部国際経済課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	H21		大企業と異なり、国際ビジネスについて独自の展開や情報の取得が困難な地場中小企業の海外展開を支援するため
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	8-3-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
<b>施策</b>	国際的なビジネス交流の促進			
<b>事業群</b>	国際ビジネスの振興			博多港・福岡空港における貿易額(H34年度目標値:4兆円)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	地場企業
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	・成長著しいアジアへの販路拡大や外国企業との連携強化。 ・福岡フードビジネス協議会を通じて、福岡・九州の地場食品製造企業がまとめて輸出拡大を進め、福岡・九州の食の海外でのブランド化を図る。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	○福岡アジアビジネス支援委員会(福岡市、福岡商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)の活動を通して、下記事業を実施(共催事業含む) セミナー開催: 14回 展示会・物産展参加支援: 4回 商談会開催: 11回(運営・広報支援含) ○福岡フードビジネス協議会 下記事業を実施 定例会開催: 9回(総会1回除く) 展示会・物産展参加支援: 4回 商談会開催: 1回 ○ギフトショー/ビューティーショー商談会 招聘企業: 10社 参加企業: 22社

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	10,551	
	<b>特定財源</b>	2,500	
	<b>一般財源</b>	8,051	
前年度決算額・翌年度予算額			
<b>歳入</b>	<b>年度</b>	H28	H30
	<b>歳出合計</b>	5,571	10,238
	<b>特定財源</b>	0	2,500
	<b>一般財源</b>	5,571	7,738

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	・国際ビジネスに関するセミナー開催 ・展示会への参加(国内・海外) ・バイヤーの招へい	・地場企業がセミナー・展示会に参加する ・海外からのバイヤーが来福し、地場企業との商談を行う	・福岡・九州の企業の海外との取引額が増える ・福岡市の貿易額(博多港・福岡空港)が増える	・卸売・小売・物流など市内産業の活性化 ・人・モノ・情報が集積する福岡のショーケース機能の強化 ・福岡・九州の食の海外での認知度が高まる		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>		
	<b>年度</b>	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
<b>活動の指標</b>	セミナー参加人数	目標	300	300	300	H 年度
		実績	617	680	300	
		達成率	205.7%	226.7%		
	商談件数	目標	650	730	780	780
実績		721	803	780		
達成率		110.9%	110.0%			
<b>成果の指標(KPI)</b>	博多港・福岡空港における貿易額【億円】	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	36,000	36,700	37,350	H 年度
		実績	37,885	44,503	37,350	
		達成率	105.2%	121.3%		
		目標				H 年度
		実績				
		達成率				